

第22回 特別講演会

身近だけどよく知らない生きもの、ミミズ

南谷 幸雄 先生（横浜国立大学）

ミミズを見たことがない人はいらっしゃいますか？日本で暮らしていれば、ほぼすべての人がミミズを見たことがあると思います。けれども、公園の片隅や小学校の校庭でも10種ほどのミミズが暮らしているという、驚かれるのではないのでしょうか。大きくて目立つ生き物なのに、身の回りのミミズをしっかりと分類できる人は、日本にはたぶん10人くらいでしょう。特に中国地方ではほとんど研究されていませんので、新種がたくさんいるのではないかと期待しています。

ミミズは、日本の生物相の成り立ちを考える上でとても大事な材料です。ほとんどのミミズは耐塩性がないこと、移動能力が低いために海が分布の制限になります。プレートテクトニクスが証明される際に、ミミズの分布パターンも検証材料として使われたほどです。さらに、川や山を超えられずに分布が制限されているものが多数存在しています。このため、四国を取り巻く西日本でも過去200万年でダイナミックにミミズが移動したことがわかっています。一方で、ミミズにも移入種（外来種）がたくさん存在しています。

講演会では、ミミズの基礎知識やその暮らしぶりと合わせて、ミミズを調べることでどんなことが分かるのか、紹介したいと思います。



▲縞模様の美しいミミズ（淡路島で見つけた新種）

- ・開催日時：平成28年3月13日（日）13:00～14:30
- ・場 所：豊田ホタルの里ミュージアム 多目的ホール
- ・受講料：無 料
- ・申し込み：電話・FAX・E-mailにてお申し込みください。
豊田ホタルの里ミュージアム
電話：083-767-0350 FAX：083-767-0355
E-mail：kittsomu@city.shimonoseki.yamaguchi.jp
- ・申込締切：定員になり次第締め切らせていただきます。
- ・定 員：40名